

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【公表番号】特表 2019-501639 (P2019-501639A)

【公表日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-003

【出願番号】特願 2018-525360 (P2018-525360)

【国際特許分類】

A 2 3 L 29/00 (2016.01)

A 2 3 L 33/105 (2016.01)

A 2 3 K 20/111 (2016.01)

A 2 3 K 20/174 (2016.01)

A 2 3 K 20/121 (2016.01)

A 2 3 K 10/30 (2016.01)

A 2 3 K 50/40 (2016.01)

【F I】

A 2 3 L 29/00

A 2 3 L 33/105

A 2 3 K 20/111

A 2 3 K 20/174

A 2 3 K 20/121

A 2 3 K 10/30

A 2 3 K 50/40

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 20 日 (2019.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくともトコフェロール類と、カルノシン酸と、加水分解型ガロタンニン類との酸化防止剤組合せ物であって、

トコフェロール類の量が 500 ppm 未満であり、かつ

カルノシン酸：加水分解型ガロタンニン類の比が 1 : 4 ~ 3 : 1 の範囲である、酸化防止剤組合せ物。

【請求項 2】

前記トコフェロール類が天然混合トコフェロール類である、請求項 1 に記載の酸化防止剤組合せ物。

【請求項 3】

前記カルノシン酸がローズマリー由来である、請求項 1 または 2 に記載の酸化防止剤組合せ物。

【請求項 4】

前記加水分解型ガロタンニン類が没食子酸である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の酸化防止剤組合せ物。

【請求項 5】

前記酸化防止剤組合せ物が、ヒドロキシチロソールおよびケルセチンから選択される少

なくとも１種の酸化防止剤をさらに含んでなる、請求項１～４のいずれか一項に記載の酸化防止剤組合せ物。

【請求項６】

前記酸化防止剤組合せ物が、約５０ppmを上回る、好ましくは、５０ppmを上回る量でヒドロキシチロソールをさらに含んでなる、請求項１～５のいずれか一項に記載の酸化防止剤組合せ物。

【請求項７】

前記ヒドロキシチロソールがオリーブ抽出物由来である、請求項１～６のいずれか一項に記載の酸化防止剤組合せ物。

【請求項８】

前記酸化防止剤組合せ物が、約１５０ppmを下回る、好ましくは、１５０ppmを下回る量でケルセチンをさらに含んでなる、請求項１～７のいずれか一項に記載の酸化防止剤組合せ物。

【請求項９】

脂肪含有組成物中での経時的な脂肪酸化を遅延させるための、請求項１～８のいずれか一項に記載の酸化防止剤組合せ物の使用。

【請求項１０】

前記脂肪含有組成物がペットフード組成物である、請求項９に記載の使用。

【請求項１１】

前記脂肪含有組成物が、好ましくは、脂肪、脂肪を含んでなる嗜好性向上組成物または脂肪を含んでなる食事から選択される脂肪含有食物成分である、請求項９に記載の使用。